

コード No. 10071

**Anti-Rat
GRO/CINC-1 (6G2) (C) Mouse IgM MoAb**

容量 : 500 µg

- はじめに : GRO/CINC-1 (Growth Related Oncogene/cytokine-induced neutrophil chemo attractant 1)は元々、IL-1 β 刺激されたラット腎臓の上皮細胞(NRK-52E)の培養上清から精製されました。ラット CINC-1 をコードするアミノ酸配列は 1989 年に富山医科薬科大学で渡辺らのグループによって同定されました。CINC-1 はケモカインのアルファ(CXC)サブファミリーに属し、それに加え 3 つのラット CXC ケモカイン(CINC-2 α , CINC-2 β , CINC-3/MIP-2)も同定されています。CINC-1 タンパク質の配列は 63-67%が CINC-2 α , CINC-2 β , CINC-3/MIP-2 と一致しています。また GRO α , GRO β および GRO γ では、CINC-1 とそれぞれ 68%, 71%, 69%の相同性があります。このことから、ラット CINC-1 がヒト GROs のカウンターパートであることが示唆されています。
- 免疫抗原 : Rat GRO/CINC-1 の C 端部分合成ペプチド (CLDPEAPMVQKIVQKMLKGVPK)
- 起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ (腹水)
(X63 – Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)
- クローン名 : 6G2 サブクラス : IgM
- 精製方法 : 抗マウス IgM による特異精製
- 包装形態 : PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 500 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2~8°C 保存 5 年間安定
溶解後 -20°C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : ウェスタン・ブロッティング 5~10 µg/mL にて使用可能
- 特異性 : Rat GRO/CINC-1 N 端部, Rat GRO/CINC-2 α , Rat GRO/CINC-2 β , Rat GRO/CINC-3, Mouse MIP-2, Human GRO α , Human IL-8 と非交差
- 文献 : Yagihashi A, Tsuruma T, Tarumi K, Kameshima T, Yajima T, Yanai Y, Watanabe N., and Hirata K. Prevention of small intestinal ischemia-reperfusion injury in rat by anti-cytokine-induced neutrophil chemoattractant monoclonal antibody. J. Surg. Res. 78 (2): 92-96, 1998